

会 議 録

会 議 名	令和 8 年度第 1 回東松山市スポーツ推進審議会					
開 催 日 時	令和 8 年 8 月 1 8 日（火）			開 会	午後 2 時 0 0 分	
				閉 会	午後 3 時 1 5 分	
開 催 場 所	東松山市総合会館 3 階 3 0 2 会議室					
会 議 次 第	1 開会					
	2 委嘱状交付					
	3 あいさつ					
	4 自己紹介					
	5 会長選出					
	6 議事					
	（ 1 ） 第 3 期スポーツ推進計画（令和 7 年度）の実績について					
	（ 2 ） 第 4 期スポーツ推進計画の策定について					
7 その他						
8 閉会						
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数		0 人	
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	会 長	横 矢 勇 一	出席	委 員	里 舘 誠	出席
	委 員	河 野 喜 男	出席	委 員	久保田 慶一	出席
	委 員	木 阪 尚	出席	委 員	西 川 光 治	欠席
	委 員	鈴 木 明	出席	委 員	島 田 修 充	欠席
	委 員	竹 内 和 夫	出席	委 員	梅 澤 行 子	出席
	委 員	七 五 三 和 孝	出席	委 員	黒 田 保 秀	出席
事 務 局	教育長 吉澤 勲					
	生涯学習部長 田嶋 靖洋			生涯学習部次長 田島 信子		
	スポーツ課長 大木 克彦			スポーツ課主幹 伊藤 勝		
	スポーツ課室長 大塚 貴夫			スポーツ課主査 野中 勇太		
	スポーツ課主任 嶋岡 祐香			スポーツ課主事 坂井 悠真		

次	第	顛	末
1	開	会	－開会宣言－
2	委嘱状交付		－吉澤教育長より委員を代表して横矢委員に委嘱状交付－
3	あいさつ		－吉澤教育長－
4	自己紹介		－委員及び事務局による自己紹介－
5	会長選出		－委員の互選により横矢委員が会長に選出－
6	議	事	－配布資料確認－
			－横矢会長による議事の進行－
			－庶務代理者に河野委員を指名－
			－議事録署名人に河野委員、木阪委員を指名－
			－会議の公開及び傍聴人の有無について確認－
			議題1 第3期スポーツ推進計画（令和7年度）の実績について
			－資料1及び資料2について事務局より説明－
	(久保田委員)		指標②子供を対象としたスポーツ教室の参加者数について、事業一覧を見るに参加人数は多いように感じるが、グラフが減少傾向となっているのは事業数が減ったということか。
	(事務局)		ご指摘のとおり、令和5年度から徐々に減少傾向にあるが、市の自主事業自体は減っておらず、埼玉西武ライオンズとの共催事業の回数が減少しているなど、他律的な要因で減少していると認識している。
	(横矢会長)		その他ありますか。無ければお聞きしたい。
			指標5のスポーツ指導者研修会参加者数について、スポーツ指導者研修会とは何か指導者資格取得に紐づく研修なのか。
	(事務局)		資料2で申し上げると、184番の東松山市スポーツ指導者研修会が該当し、東松山スポーツ指導者協議会が主催する研修となっており、いくつかの指導者資格と連動した研修会と伺っている。
	(七五三委員)		スポーツ少年団の指導者は4年毎に資格を更新する必要があり、本件集会は資格更新のための研修会を兼ねている。
	(横矢会長)		これは日本スポーツ協会の指導者資格ということでよろしいか。

(七五三委員)	そのとおりである。
(横矢会長)	その他ありますか。
(七五三委員)	推進項目３のスポーツを楽しむ環境づくりの推進に関連して、令和７年度に実施した東松山サッカー場の北側フェンスの更新工事について、東側フェンスのほうが北側よりも劣化していたにも関わらず、なぜ北側から先に改修したのか。 利用者の立場からすると無駄に感じたがいかがか。
(事務局)	当時の状況は確認できていないが、ネットだけでなく、柱も経年劣化が進んでおり安全面から優先して工事を行ったものと考えている。残りの東側の部分についても、更新する計画があるため予算取り等進めてまいりたい。
(七五三委員)	予算取りを頑張っていただきたい。
(横矢会長)	その他ご意見等ないようでしたら、続いての議題に入ります。 議題２ 第４期スポーツ推進計画の策定について －資料３及び資料４について事務局より説明－
(七五三委員)	中学校の休日の部活動の地域展開について書いて記載があるが、東松山市としては今どのくらい進んでいるのか。
(事務局)	まだ、検討中の内容ではあるが、市内施設を活動拠点として陸上部と剣道部に指導者を配置して、休日の部活動の地域連携について実証事業を行う予定となっている。
(横矢会長)	部活動の地域移行をする場合に、活動する施設は学校が貸し出すのか。
(事務局)	今回の実証事業については、学校教育課が主体的に進めており、その中では本市の体育施設を会場として、剣道で言えば市有施設の体育館、

	陸上については陸上競技場などを会場として考えていると聞いている。
(横矢会長)	会場が一か所だとすると、東松山市は南北に長いので子供が移動するには少し厳しい部分あると思うがどうか。
(事務局)	今回は剣道と陸上ということで一か所に集めてできるということもありその方向で進めているが、競技によっていろいろまた条件が異なってくると考えている。 陸上は陸上競技場で、剣道は市民体育館など一か所で実施できるが、例えば吹奏楽部が一か所に集まって実施できるかというとなかなか難しい部分もあるため、その場合は複数の施設に分かれることも考えられるため検討を継続している。
(横矢会長)	その他ございますか。
(河野委員)	部活動の地域展開が進むと学外の指導員の比重が増えていくと思うが予算の確保は出来ているのか。
(事務局)	部活動指導員については、報酬等を支払う形の制度を検討していると伺っている。学校の先生が休日の指導者を兼務することも想定されるが、その辺りは兼業や総勤務時間との兼ね合いもあり、詳細については検討中である。
(河野委員)	活動のための予算の目途はついているのか。
(事務局)	部活動指導員は市の予算を充てている。先行自治体では、年会費のような形で一定の保護者負担をお願いしている事例もあると認識しており、今後の検討課題となっている。
(河野委員)	国の補助はあるのか。
(事務局)	一部適用可能はものもあるが、基本的には自治体が主体で運営することが想定されている。

(横矢会長)	部活動の地域展開に関して、指導員になる人というのは資格が必要なのか。
(事務局)	今回の実証事業に関しては、既に部活動指導員として認定されているものや、競技団体が認めるもの、東松山市立学校勤務の教職員などを想定している。 国が受け皿として今後想定している「認定地域クラブ活動指導者」については、座学の受講や対面による研修を経て資格認定されるような仕組みを検討している。
(横矢会長)	それは1日で終了するような研修なのか。
(事務局)	1日で終わる内容ではないと認識している。
(河野委員)	この部活動の地域展開はスポーツ庁主体ではないのか。
(事務局)	文部科学省が主体となって推進している。
(横矢会長)	資料4の2ページ目の問10で、あなたが今後行ってみたいスポーツやレクリエーション活動は何ですかという項目を3つまで選択できるが、例えば球技を選択した場合に、バスケットボールなのかバレーボールなのか具体的な競技名がわかると良いと思うがいかがか。
(事務局)	例えば選択した項目について次の設問で、実際の競技を具体的に記入していただく形で対応できるかと思うので、設問内容について検討させていただきます。
(横矢会長)	お願いします。
(久保田委員)	eスポーツについて、現時点では特に市としては計画がないというような話だと思うが、今後動きがあるのか。項目に加えた理由があれば教えていただきたい。

(事務局)	e スポーツについては、国のスポーツ基本計画や埼玉県のス ^ポ ーツ推進計画に記載があるため設問を追加した。今回のアンケート調査等を通じて市民のニーズ等々を踏まえながらどの程度市として関わっていくべきなのかを判断したいと考えている。
(横矢会長)	その他ありますか。 無ければ以上をもって議事を終了としたい。
7 そ の 他	－事務局より次回の開催予定時期について説明－
8 閉 会	－田嶋部長より閉会の言葉－

上記会議の顚末を記載した内容について、相違ないことを証します。

令和8年8月31日

署名委員 河野 喜男

署名委員 木阪 尚